

水俣病の差別を学ぶ

人権視察研修

部落差別や各種の人権差別を学習し差別のない世の中を目指す「八幡地区人権教育推進協議会」は10月30日に熊本県水俣市の水俣病資料館を視察研修いたしました。

水俣病は、工場排水中のメチル水銀に汚染された魚や貝などをたくさん食べることで起こった水銀中毒です。体内に入ったメチル水銀は脳などの神経系を侵し、手足のしびれやたくさんの症状のほか胎児にも影響しています。



▲水俣病資料館からはすっかりきれいになった海が臨める。

水俣病資料館の研修では、「語りべ」から、父や祖父が水俣病で大変苦しい思いをしたこと、友達にも出身地区を言えなかったことなど、自分自身の子どものときの体験を話してくれて、最後には、自分自身も差別の心があつたと反省を語っていました。

昭和30年代から水俣病という公害で犠牲になった水俣市、病気の原因を取り

除くことや、汚染された海を長い年月と巨額を投じて再生し、「もやい直し」で市民の心を一つにするとともに、市全体で最先端の環境美化に取り組んでおり、深い感銘を受けた研修となりました。

ハ小クリーン作戦

11月6日 八幡小学校の全校児童が自治会館の清掃をしてくれました。学校から掃除道具を持って、八幡自治会館にやってきたハ小児童！



班ごとに分かれて、班長さんの指示のもと清掃作業が行われました。おかげで自治会館のすみずみまできれいになりました。ありがとうございました。

教育文化祭音楽祭

11月2日 郡教育文化祭が開催され、3校が出演しました。

古後中全校生徒は古後神楽「四神宝剣」を披露。剣を使った神楽ですが、舞と囃子が一つになり、素晴らしい舞になりました。また、八幡小は3、6年生による合唱を披露。楽しそうに歌って踊る姿に、会場からは

自然と拍手が起き、場内が一体となっていました。

古後小は『大汐舞』を披露。学校支援事業で古後神楽社の指導を受けた成果が出て、会場を沸かせていました。

学校支援地域本部事業



古後小学校



八幡小学校



古後中学校